

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課		■担当係	生活安全係
■評価事業名称	少年センター運営事業			
■評価事業コード	030200 - 314	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	03 安全・安心な地域社会の構築		
	■施策	05 防犯対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	少年の非行防止活動を行い、健全育成を図る。運営委員会等、少年センターの運営に関する事務、少年補導員の委嘱及び研修、街頭補導の計画立案・実施。少年センター報の発行、青少年問題協議会・青少年育成委員関連事務			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	少年センター運営事業	20歳未満の少年		少年センター報:12回発行 教育福祉連絡会議:12回 少年センター運営委員会:1回
02	街頭補導実施事業	20歳未満の少年		補導員数:155人、専任補導員2人 補導員研修会:1回 補導員会議(11回) 補導回数:354回 補導活動延人員:814人 補導人員:56人 補導員報の発行(月1回)
03	青少年問題総合協議会事務	青少年		青少年問題協議会委員 18人 市青少年育成委員 5人 青少年問題協議会の開催

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	5,141	911	4,700	4,682	
人件費	2,964	3,846	2,190	5,271	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,105	4,757	6,890	9,953	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	少年センター報の発行回数	12回	12回	12回	12回	非行防止や青少年健全育成に関するテーマについて市民の理解を得る情報を提供している。
02	補導員会議の実施回数	3回	2回	2回	2回	中学校区を単位として、教育・福祉・防犯関係者、児童・生徒の保護者などが課題等について意見交換したり、研修したりする場を設けている。
03	市内における刑法犯少年検挙件数	45人	43人	27人	43人	岩手県警の資料による

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

☐ A. 順調

☒ B. 概ね順調

☐ C. 遅れている

達成状況の分析

問題点・課題等

1. 直接的な受益者の範囲

☒ 不特定多数に及ぶ

☐ 特定されるが多数に及ぶ

☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

☒ 大きな不利益やリスクが生じる

☐ ある程度の不利益やリスクが生じる

☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

☐ 類似の事業はない

☒ 類似の事業はあるが競合はない

☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

☐ ニーズが高まっている

☒ ニーズは変わらない

☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

☒ 順位が高い

☐ 順位が中程度

☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

☒ 順位が高い

☐ 順位が中程度

☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

☐ 先進的またはユニークな事業である

☒ 他と同程度の事業である

☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

☒ 民間委託等の拡充は難しい

☐ 民間委託等の拡充が十分に可能

☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

☒ 今以上の効率化や改善は難しい

☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能

☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

☐ I. 拡充

☒ II. 継続

☐ III. 縮小・要改善

☐ IV. 民間活用・協働事業化

☐ V. 廃止・休止

☐ VI. 完了

補足説明